

## 中学部の研修テーマ

「働く意欲を引き出す授業づくり～学習する子どもの視点に立って～」

中学部では、「自分からやってみよう」「もっとやりたい」という働く意欲を引き出していくために、昨年度の取り組みを継続し、個々の目標設定、評価について、個別ツールを活用しながら検討をしています。

また、今年度は、生徒自身が自分の成長に気付くことができるよう、教師が変容を見取り、生徒と共有していくことも大切に、支援や考える、判断するためのしかけづくりにも力を入れています。

### 個別カード

The Individual Card is a form used for tracking student progress. It includes a header with the student's name and class, followed by a table for recording goals and progress. The table has columns for '目標設定' (Goal Setting) and '進捗状況' (Progress Status). Below the table, there are sections for '振り返り' (Reflection) and '評価' (Evaluation).

### 授業観察カード

The Lesson Observation Card is a form used for recording lesson details and observations. It includes a header with the lesson title and class, followed by a table for recording lesson details. The table has columns for '授業内容' (Lesson Content), '観察ポイント' (Observation Points), and '観察結果' (Observation Results). Below the table, there are sections for '振り返り' (Reflection) and '評価' (Evaluation).

今年度は、作業学習 紙工班の『えがおをとどけ隊～まっすぐ、じょうぶ、おしゃれな製品』の授業で研究授業が行われました。



この授業では、1学期の経験を生かして受注生産に取り組み、もらった相手が笑顔になるように、まっすぐ、じょうぶ、おしゃれを合言葉に、「正確さ」を大切にしながら製品作りを行いました。

一人一人、目標（頑張るポイント）を作業の前に確認し、報告時に確認するようにしました。また、製品が完成したところで、すぐに相手に届ける活動に繰り返し取り組み、製品を届ける喜びを実感できる授業を設定しました。



事後研修では、授業観察カードを活用し、事例生徒の言動から思いを読み取り、「できた」と実感できる支援をさらに考えることを目的として、グループワークを行いました。生徒の視点に立って検討することで、「網を正しい位置に置くことができていないので、結果、できていない。」という評価ではなく、「枠に書かれた線を指差ししながら置いたり、網がずれて隙間ができるともう一度やり直そうとしたりする様子から、本人は、網がずれてしまうと良品が作れないことは理解しているが、はっきりした正解の位置が分からず、正しい位置に置くことができていない。支援の方法を改善すればできるのではないか。」という、本人視点での話し合いができました。この話し合いを通して教材の工夫や必要な支援のアイデアがたくさん出てきました。

静岡大学教育学部附属特別支援学校の加茂聡先生からは、できた、できないでなく、分かったという「納得感」を積み重ねていくことの大切さについて分かりやすく話をいただきました。

今後も、先生からいただいた指導助言を基にしながら教育実践を重ね、生徒の発達段階や本人の学び方に合わせた、できる状況づくりを設定した授業づくりに取り組み、生徒の自立と輝きを育てていきたいと思えます。

